



§ ワールド・カフェあなたの言葉が未来を作るー§

1. 「ワールド・カフェ」とは

「ワールド・カフェ」はその名のとおりカフェのようなリラックスした雰囲気テーマに集中した話し合いをする。具体的にはメンバーを替えながら小グループで話し合いを続け、その結果、参加者全員が話しあっているような効果を得る。そのため、参加者 1000 人以上の「ワールド・カフェ」も行われている。「ワールド・カフェ」は短い時間で実施できるという手軽さ、プロセスが単純で、ファシリテーションがしやすい特徴があり、企業や NPO、教育研修なので広く使われている。

2. 目 標

テーマについての意見をよく聞き自分の考えが変わることを体験する。自分の考えを素直に述べることでアイデアを広げる。

3. 構 成

- (1) 参加者人数を 4 で割ったテーブル数、テーブルごとに模造紙 1 枚、サインペン人数分、付箋紙 8 枚、お菓子と飲み物を用意する。
- (2) 4 人 1 組のテーブルに分かれる。
- (3) 第 1 ラウンドとして、各テーブル内で共通のテーマについて話し合う(例：ITC-J のビジョンとは)。話しあいながら、模造紙に絵や記号でメモする。
- (4) 全員の話が終了したら、テーブルを移動し、第 2 ラウンドとして更に話し合いを行う。
- (5) 全員の話が終了したら、元のテーブルに戻り、第 3 ラウンドとして更に話し合いを行う。
- (6) 全員の話が終了したら、全体セッションとして今考える自分にとってのテーマの答えを付箋紙に書く。もう一枚には今からできる行動を書く。
- (7) どんな変化を認めたかについてグループ全体で話し合う。
- (8) 質疑応答

4. 効 果

少し固いテーマを柔かい雰囲気の中で話し合うことで、普段考えなかったことを考える機会になり、仲間同士の結束が強まる。

参考文献

アニータ・ブラウン&デイビッド・アイザック(2007)『ワールド・カフェ』ヒューマンバリュー
香取一昭 大川恒(2018)『ワールド・カフェをやろう 新版 会話がつながり、世界がつながる』日経 BP